5

まちを見る目を養おう　～中央のまちあるき～

日　時：令和４年１１月２０日（日）　１０：００～１５：００
場　所：中央公民館、中央学区内
受講生：２０名
講　師：龍谷大学政策学部教授　只友　景士 氏
協　力：大津市議会議長　伴　孝昭 氏
　　中央学区団体連絡協議会　会長　青木　正博 氏
　　他　４名の中央学区の皆さん
　　龍谷大学只友ゼミ生１０名
　　中央公民館生涯学習専門員　梅村　日出子 氏

【講座内容】
〇開会あいさつ（大津市教育委員会　島崎教育長）・開会諸注意、自己紹介
〇地元あいさつ（大津市議会議長　伴 氏）
〇学区の概要説明（中央学区団体連絡協議会会長　青木 氏）
〇講義：只友教授（理論学習①　「まちを見る目を養おう」　～中央のまちあるき～）
〇現地調査：中央学区のまち歩き　～浜通、中町通、京町通（旧東海道）周辺～」
〇グループワーク①：気づきの整理、発表

【概　　要】
　地元大津市議会議長 伴様からあいさつを、中央学区団体連絡協議会会長 青木様から学区の概要について、龍谷大学只友教授から「まちを見る目を養おう」の講義の後、青木会長・安孫子副会長、大津の町家を考える会の雨森様の案内で浜通、中町通、京町通（旧東海道）周辺を巡った。地元の歴史や遺跡、くらしの文化等について学びを深めた。現地調査後のグループワークでは、龍谷大学只友ゼミ生も交えて気づきの整理を行った。

【受講生の感想より】
　まち歩きを通じて、登録有形文化財が多く、町家も多くあることを知った。旧東海道の一部で電線が地下に埋設され、石畳風に整備されて美しく、新しく建設されたマンションもまちの景観を邪魔しないように調和を取っていた。文化財の建物の特徴や歴史など深堀した情報の案内表示がないことを残念に思う。

【当日の様子】

理論学習

中央学区の概要説明

中央のまち歩き

意見交換会